

平成20年度 土木部予算の概要について

1 予算要求・編成の基本方針

「持続的発展が可能な地域社会の形成」を基本理念とする県の長期総合計画「うつくしま21」の部門別計画として策定した「うつくしま建設プラン21」の基本目標である「ともに考え、ともに作る美しい県土」の実現に向けて、引き続き、次の『基本テーマ』により施策展開することを基本とする。

基本目標の実現に向けた取り組みの4つの基本的テーマ
交流を促進するネットワークづくり
安全で安心できる生活環境づくり
個性と魅力ある美しいまち（地域）づくり
施策展開のしくみづくり

なお、平成20年度予算編成にあたっては、限られた予算の中で、効率的な財源充当や国の交付金の活用など、事業量の最大限の確保を目指す。

2 1 最重点事項

平成20年度予算における最重点施策及び項目は以下のとおり。

1 縦横6本の連携軸強化と広域的交流を促す幹線道路の整備

南部軸として国道289号甲子道路の完成を図るとともに、地域高規格道路あぶくま高原道路について、福島空港IC～平田IC間の一部区間の部分供用を図る。また、一般県道南福島停車場線（小倉寺大森線）等の広域的都市活動を支援する道路整備を推進する。

2 小名浜港東港地区の重点整備

国直轄による小名浜港東港地区の整備新規着手に合わせ、本格的整備に着手する。

3 「福島県道路アセットマネジメント」等による維持管理の本格的運用

予防保全の考え方を取り入れた道路施設の計画的な維持補修や修繕について、平成20年度から本格的に運用を図る。

主要観光拠点周辺や福島空港へのアクセス道路などについて、景観に配慮しながら「フレッシュアップ作戦（仮称）」により道路施設の修繕・改修等を重点的に推進する。

4 地域自立活性化交付金の全県域での展開

地域自立活性化交付金等を活用した戦略的・重点的な社会資本の整備を全県域で行い、地域づくりや観光の活性化、地域産業の振興等を支援する。

5 市街地河川の重点的整備

桜川や右支夏井川などの市街地浸水被害の解消に向け、概ね5ヶ年の集中投資により早期に効果が発現するよう、平成20年度より重点整備に取り組む。

6 合併支援道路の本格的着手

計画期限の平成28年度までの整備完了に向け、平成20年度は、用地補償等の本格的整備に着手する。

2 2 うつくしま建設プラン21の基本テーマごとの重点事項

(1) 交流を促進するネットワークづくり

- ・7つの生活圏相互の連携と交流を促進し、持続的発展が可能な地域社会を形成するため、縦横6本の連携軸ネットワークの整備を推進するとともに、国際物流を支える港湾機能の高度化を推進する。

(2) 安全で安心できる生活環境づくり

多発する災害への備え

- ・頻発する河川の氾濫や浸水、土砂災害や高潮災害等の自然災害から県民の生命や財産を守るため、治水施設や砂防施設等のハード対策を推進するとともに、近年の気候変動等により、計画規模を上回る洪水や改修途上段階での整備規模を上回る洪水が万が一発生した場合でも地域住民が安全に避難できるように目安となる河川水位の設定や土砂災害警戒区域等を指定するソフト対策を重点的に推進し、これらハード対策とソフト対策が一体となった防災・減災対策を図る。

安全、安心な生活環境の確保

- ・安全で安心できる暮らしを実現するため、通学路の交通安全対策を推進する。
- ・民間住宅の耐震性能を向上させるため、市町村が実施する民間住宅耐震診断及び市町村が補助する民間住宅耐震改修を支援する。
- ・地震災害時における復旧活動拠点等の機能を担う県有建築物の耐震診断を実施するとともに、「福島県県有建築物の耐震改修計画」に基づく耐震化を促進する。

生活関連事業の推進

- ・道路、河川など生活に密着した施設の改善については、地域住民のニーズを十分に把握した上で、地域の実情にあった改善方策を策定し、現場主義による迅速かつ的確な事業実施に努め、安全で安心できる豊かな生活環境の整備を推進する。

維持管理の充実

- ・戦後の高度成長期に整備された社会資本が更新期を迎えつつあることから、既存施設の有効活用と長寿命化を図るため、予防保全を基本とした計画的かつ効率的な維持管理を推進する。

特に主要観光拠点周辺や福島空港へのアクセス道路などについては、本県の魅力向上や訪れる方々へのおもてなしの観点から、景観に配慮しながら道路施設の修繕・改修等を重点的に推進する。

(3) ソフト・ハードと一体となった個性と魅力ある美しいまち(地域)づくり

- ・中心市街地を活性化するとともに豊かで活力あるまちづくりを支援するため、都市再生を図る都市基盤の整備を推進する。
- ・地域の歴史、文化などの地域資源を活用した活性化を支援するため、地域自立・活性化交付金を活用するとともに、住民や関係機関と連携したソフト対策と一体となった施設整備を推進する。
- ・少子高齢化に対応した快適な歩行空間の整備を推進する。
- ・県有施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、公共施設等へのユニバーサルデザインの導入を促進する。
- ・合併市町の新たなまちづくりの実現に向けて、合併市町の速やかな一体化に資する道路整備を推進する。

(4) 施策展開のしくみづくり

公共事業における透明性・競争性・公正性・品質の確保

・一般競争入札の全面的導入を柱とする新たな入札制度に基づき、公共事業における透明性、競争性、公正性の確保に努めるとともに、発注者責任（公正さを保ちつつ良質なものを低廉な価格でタイムリーに調達し提供する責任）を果たすため、品質確保対策に取り組むとともに、職員の技術力の向上に努める。

徹底したコスト縮減等マネジメントサイクルの充実

・限られた予算で、良質な社会資本整備と適切な維持管理を行うため、工事コストの縮減、ライフサイクルコストの縮減等、福島県公共工事コスト縮減新行動計画に基づきコスト縮減に取り組む。

現場主義の徹底

・職員一人一人が「県民の目線で、県民の望むことを、スピーディーに」という現場主義をより一層徹底し、県民からの要望に対する迅速かつ適切な対応に努めるなど、原理・原則に基づいた業務の適正執行を図っていく。

3 対前年増減額

(単位：百万円)

区 分	平成20年度	平成19年度	増減	伸び率
予算額計	112,246	116,500	4,254	3.7 %
義務的経費	8,973	9,288	315	3.4 %
一般事業費	14,697	14,133	564	4.0 %
公共事業費	88,576	93,079	4,503	4.8 %

4 重点事項と主な対応事業

(1) 交流を促進するネットワークづくり

縦横 6 本の連携軸整備の促進

国道改築事業（連携軸） 他

C= 3,368 百万円 (H19 年度比 0.85)

国際物流を支える港湾機能高度化の推進

小名浜港東港地区の整備

C= 716 百万円 (H19 年度比 1.99)

(2) 安全で安心できる生活環境づくり

多発する災害への備え

水害対策の推進

治水対策

C= 5,153 百万円 (H19 年度比 0.88)

土砂災害対策の推進

土砂災害防止法関連調査事業

C= 360 百万円 (H19 年度比 0.69)

土砂災害対策

C= 2,660 百万円 (H19 年度比 0.96)

地震対策の推進

橋りょうの耐震対策（含む臨港道路）

C= 858 百万円 (H19 年度比 0.49)

安全、安心な生活環境の確保

通学路の交通安全対策の推進

通学路の交通安全対策

C= 7,907 百万円 (H19 年度比 1.00)

建築物の耐震対策推進

(重点) 木造住宅減災化促進事業	C=	9百万円 (H19年度比0.90)
(重点) 木造住宅耐震化促進事業	C=	12百万円 (H19年度比0.80)
(重点) 建築物耐震対策事業	C=	27百万円 (H19年度比1.00)

生活関連事業の推進

生活に密着した施設改善の推進

生活基盤緊急改善事業	C=	2,285百万円 (H19年度比1.00)
------------	----	-----------------------

維持管理の充実

予防保全を基本とした計画的・効率的な維持管理

維持補修費(部全体)	C=	10,450百万円 (H19年度比1.03)
------------	----	------------------------

(3) ソフト・ハードと一体となった個性と魅力ある美しいまち(地域)づくり

都市再生・活力あるまちづくりの支援

新しい時代に対応した都市政策の推進	C=	78百万円 (H19年度比0.81)
市街地再開発事業費補助事業	C=	61百万円 (H19年度比0.35)
国道13号西道路関連事業	C=	3,037百万円 (H19年度比1.06)

地域活性化の基盤づくりの推進

(重点) 元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業	C=	680百万円 (H19年度比1.08)
地域自立活性化事業	C=	2,650百万円 (皆増)
流域連携による水循環・水環境の創出	C=	4,523百万円 (H19年度比0.83)
(新規重点) 意欲ある建設業チャレンジ支援事業	C=	11百万円 (H19年度比皆増)

快適な歩行空間の確保の推進

(重点) やさしい道づくり推進事業	C=	711百万円 (H19年度比0.70)
-------------------	----	---------------------

ユニバーサルデザイン化の推進

(重点) 共生のまち推進事業	C=	68百万円 (H19年度比0.91)
----------------	----	--------------------

合併市町のまちづくり支援

市町村合併支援道路整備事業	C=	1,030百万円 (H19年度比29.43)
---------------	----	------------------------

(4) 重点推進分野事業の推進(既掲載を除く)

(新規重点) うつくしま、エコ・リサイクル製品活用促進事業	C=	2百万円
(新規重点) "魅力いっぱい" 磐梯AZUMA、来て! 見て! 食べて! 事業	C=	1百万円

5 見直しを行った主な事業

箇所を選定に際しては、緊急度・優先度を勘案し事業箇所の重点選別を実施した。

さらに、平成19年度に新設された地域自立・活性化交付金を積極的に活用し、県内全地域で比較的小規模な県単事業に交付金を上乗せすることで事業進捗を図ることとした。

・地域自立活性化事業費 C= 2,650百万円

(県単費1,457.5百万円に対して交付金1,192.5百万円を上乗せした)